

## 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### せん妄ハイリスクケアの有用性の評価

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月1日から2021年3月31日までに昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター病棟に入院されていた方が対象です。

#### 2. 研究目的・方法

##### 研究背景：

2020年度より急性期（症状が急に現れる時期、病気になり始めの時期）入院患者に対するせん妄（もともとある病気や薬の影響など、何らかの理由で、一時的に意識障害や認知機能の低下が起こる状態）予防取り組みとして、せん妄ハイリスクケアが始まりました。せん妄ハイリスクケアとは、急性期医療を担う保険医療機関の一般病棟において、すべての入院患者さんに対してせん妄のリスク因子（病気を引き起こす、あるいはある病気に付加的に働く因子のこと）の確認を行い、ハイリスク患者に対して薬物を使用せずに、せん妄対策を実施することです。これにより、せん妄のリスク因子をスクリーニング（複数の対象の中から条件に合うものを選び出す、ふるいにかける作業）して、早期に対処することができます。ただし現在の評価法では入院中1回に限るため、どの程度のせん妄の予防効果があるのか不明な点もあります。

そこで本研究では、昭和大学横浜市北部病院に入院された患者さんの全体ので、せん妄ハイリスクケアの対象となった方の割合やせん妄が実際に発症した方の割合、またハイリスク評価を行ったタイミングなど、患者さんの属性（性質や特徴）とその動向について調査し、今後の有用なせん妄のリスク因子とスクリーニングについて検討するため本研究を計画しました。

##### 調査対象：

2019年1月1日から2021年3月31日までに昭和大学横浜市北部病院に入院された方

##### 調査項目：

患者さんの年齢や性別、生活状況、お体の病気や怪我の種類と状態、検査結果、治療の方法・効果

**研究期間**

昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから、2022年3月31日まで

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

診療録（カルテ）から、せん妄予防のケア過程またはせん妄発症の経過を調査します。  
情報：病歴、主なる疾患の経過、スクリーニングによる予防効果、せん妄の発生状況

**4. お問い合わせ先**

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター  
住所：〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

職名：医師 氏名：沖野和麿、稲本淳子  
電話番号：045-949-7000（代表）

研究責任者：医師 氏名：沖野和麿